
2019 年度



稲門映像人・文化人ネットワーク
活動報告書

■代表幹事よりご挨拶



映像事業産業界には、既に 40 以上の団体があり、各々活動していますが、何れも同業者が会員で、横断的なものは殆りありませんでした。

「コンテンツ産業」という新しい産業が、将来中枢産業になるであろうと、政府を始め関係者一同活動をおこなっておりますが、映像コンテンツ産業を構成するメンバーは、映画・テレビ等の会社経営者、監督、撮影監督、美術、音響、脚本・作家、俳優・タレント、ポストプロダクション等、多岐に亘ります。

そして、一方で、所得格差、著作権、労働環境等、大きな問題も抱えています。若い人達が憧れてこの業界に入っても、必ずしも未だ整備されていない環境が残っているのが現実です。

実は 10 年余り前から、“縦・横”を結んだ団体構想で準備を始めましたが、何しろこの世界は多士済々で、いわゆる“一国一城”の人も多く、「纏まる」というのは至難の業で、実現に至りませんでした。そのような事情の中で、設立まで 2 年余りを要しましたが、今回一定の範囲でスタートしたのが「稲門映像人・文化人ネットワーク」です。

稲門の冠をつけてはおりますが、このような発足の経緯もあり、参加者に経歴、出身校、性別等の区別は全くありません。進んで参加、応援、共に活動することを強く期待しております。

稲門 映像人・文化人ネットワーク

代表幹事 信井 文夫

■ 設立記念講演・懇親パーティー

会の発足に当たり、会の設立目的や内容について意見交換等、設立記念講演並びに懇親パーティーを開催いたしました。

・ 特別記念講演

テーマ：「変革の時代こそチャンスをつかむ」

会 期：2018年10月3日（水）16:00～17:30

場 所：大隈講堂大講堂

講演者：



全米放送事業者協会会長
アメリカ合衆国元上院議員
ゴードン H・スミス



全米放送事業者協会渉外担当上席副会長
スーザン（スー）G.キーノム



本会 Youtube チャンネルから、ご覧いただけます。

(<https://www.youtube.com/channel/UC1rOVWen35PVZ2XRDLbDTA>)

パネルディスカッションでは、スミス会長のご講演に対して、日本における現状説明とその対比として、上智大学文学部 音好宏教授 (<https://dept.sophia.ac.jp/human/journalism/teacher/oto>)、早稲田大学理工学部 河合隆史教授 (<http://www.tkawai-lab.com/>) NHK 専務理事・技師長 児野明彦氏 (<https://www.nhk.or.jp/pr/keiei/yakuin/>) らによるご意見を頂き、議論を深めることができました。



大隈講堂でのご講演に先立ち、世界中でご活躍されるバイオリスト、齋藤アンジュ玉藻氏 (プロフィール: <http://www.tamamo-ange.com/profile/index.html>) による演奏をお聴きいただきました。彼女 HP より抜粋: 日本人ヴァイオリニストとして初めてドイツのバッハフェスティバルに招待されており、世界中から集まる巨匠たちと並ぶ大きなステージに期待が寄せられている。「民族を超え、宗教を超え、男女を超え、時代を超え、政治を超え、すべての心境をも超える力を持つ芸術創り」が今の研究課題である。

・懇親パーティー

会 期：2018 年 10 月 3 日 (水) 18:00～20:00

場 所：リーガロイヤルホテル東京 ロイヤルホール

◇開会挨拶

- 『稲門映像人・文化人ネットワーク』発起人代表 信井 文夫

◇来賓ご挨拶

- NAB(全米放送事業者協会)会長 ゴードン・H・スミス様
- 早稲田大学総長 鎌田 薫 様
- 総務省 情報流通局長 山田 真貴子様
- 乾杯のご発声 坪内博士記念演劇博物館 館長 岡室 美奈子様
- 中締のご挨拶 (一社)日本音楽著作権協会 会長 いで はく様

■設立総会

第一号議案

会則承認の件

第二号議案

組織・幹事承認の件

第三号議案

決算書承認の件

会 期：2019 年 2 月 1 日（金）

■第 1 回シンポジウム

映像業界の稲門会発足を記念して、第 1 回シンポジウムを下記の通り開催いたしました。

会 期：2019 年 2 月 13 日（水）16:00～18:00

場 所：早稲田大学国際会議場『井深大・記念ホール』

式次第

1. 開会あいさつ 稲門映像人・文化人ネットワーク代表幹事 信井文夫
2. ご来賓あいさつ 総務省情報流通行政局 情報通信作品振興課長（コンテンツ振興課長）
渋谷 闘志 様
3. ご来賓あいさつ 経済産業省商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長補佐
小栗 和行 様

4. テーマ 『変化する時代におけるコンテンツの重要性』

登壇者：



株式会社 KADOKAWA 取締役会長

角川 歴彦（かどかわ つぐひこ）氏



映画監督

本木 克英（もとき かつひで）氏

聴き手：



早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 館長

岡室 美奈子（おかむろ みなこ）教授



130名を超える皆様にご来場いただきました。

■『言葉の日』バーベキュー(BBQ)大会

稲門映像人・文化人ネットワーク親睦イベントの第一弾を開催いたしました。

会 期：2019年5月18日(土) 12:00~15:00

場 所：夢の島マリーナ2階 MARINA&GRILL レストラン



50名を超える皆様にご参加いただきました。

■Dolby Cinema 映画「轢き逃げ -最高の最悪な日-」 制作セミナー

昨年11月に国内初のDolby Cinemaが導入され、劇場用HDR技術Dolby Visionを採用した映画作品の上映が注目を集めています。

2019年5月には、邦画初のDolby Cinema上映作品「轢き逃げ -最高の最悪な日-」も劇場公開され、国内制作作品でのHDR採用に対する関心も高まってきました。

本作の撮影監督であり、劇場用Dolby Visionの仕上げに参加された会田正裕様をお招きして、採用の背景や実作業でのご経験、また今後の期待や課題などをお聞きし、映画本編もご鑑賞いただくセミナーを開催いたしました。

会 期：2019年5月30日(木) 13:00~16:40

場 所：MOVIX さいたま Dolby Cinema

講 師：会田正裕 J.S.C. (株式会社アップサイド)

内 容：第1部

採用の背景、作業環境の紹介 (モデレータ：石川幸宏 HOTSHOT 編集長)

映画「轢き逃げ -最高の最悪な日-」本編上映：Dolby Cinema 鑑賞(約130分)

第2部

作業プロセス、普及の期待・課題、Q&A

■特別講演「ひょっこりはん、母校に現る」

芸人「ひょっこりはん（早稲田大学卒業/N S C東京 18期生）」を講師に招き特別講演会を開催いたしました。

会 期：2019年6月24日（月）17:00

場 所：早稲田大学総合学術情報センター 第1会議室

講演者：



お笑い芸人

よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属

早稲田大学卒業/N S C東京 18期生

ひょっこりはん

テーマ：早稲田大学での生活、挫折したコンビ漫才時代のこと、ひょっこりはんという名前へのこだわり、進路や夢へのこだわりなどを語っていただきました。



80名を超える皆様にご来場いただきました。

■稲門祭 2019

稲門祭 2019に参加いたしました。現役の学生の方々にも、広報活動のお手伝いをお願いしました。



■「石田純一さんとその仲間たち」 クリスマス・バーベキュー会

稲門 映像人・文化人ネットワークを設立して初めてのクリスマスは、様々な分野で活躍する俳優の石田純一さんと一緒にバーベキューをして過ごしました。

会 期：2019年12月15日（日）12:00～15:00

場 所：夢の島マリーナ2階 室内レストラン



静岡県袋井市で長年にわたり「映画をつくろう」という学生をはじめとした子供たちに自主的に映画を作ってもらおうワークショップを行っている映画監督の池田千尋さんと俳優の石田純一さんに「映像と子供」というテーマでお話をさせていただきました。

■本会を構成する人員

代表幹事を筆頭とした映像文化に関わる幹事・監事、14名で構成しています。

発足時より、メーリングリスト、SNS(Facebook)を運用し、情報を広くお伝えするように努めてきました。

Facebook グループ(<https://www.facebook.com/groups/wvcnet/>)は、現在登録者数 484 名です。参加者から、1日あたり 1-2 件程度の新規投稿があり、情報交流が始まった印象です。

メーリングリストは、主に会のイベント告知に使っており、こちらの登録者は 430 名です。ご登録されたい方は、本会事務局アドレス(wvcnetoffice@gmail.com)あてに、お知らせください。

所属会員の構成は、映像・番組の制作に関わる方々、映画監督・プロデューサー・脚本家、俳優、音楽家、大学の先生、学生など映像制作に関わる多岐に渡る方々が所属しておられます。

稲門会の youtube channel (<https://www.youtube.com/channel/UC1rOVWen35PVZ2XRDLbDTA>) の活用も今後進めていきます。また、学生さんを主体とした SNS(twitter @VCnetoffice ,Instagram vcnnetoffice)も、はじまっています。

こちらに繋がってくださるよう、お願いいたします。

"稲門"を冠しておりますが、出身・業種・性別に捉われず広く参加頂いております。

■今後の活動について

発足時より続いておりますイベントは継続してまいります。

今年も、早稲田大学稲門祭に参加します。

今年からは学生さんたちにも、本会に入っていただき、若い感性・感覚から、彼らの行いたいことに耳を傾けます。そして、彼らを支援させていただくなか、本会としてできることから、対応してまいりたいと考えております。

今年に入り、学生さんへの呼びかけもすこしずつ進み、最初数名のスタッフから、2桁の学生さんにお声かけが進んでいるという段階です。学生さんと、池田千尋監督との交わり、早稲田大学の映画まつり実行委員会とも交流を進めていきます。

定期的にイベントを継続するとともに、会に関わる方、学生の皆さん、映像文化に関わる方との幅広い交流を広げられますように努めます。